

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年9月3日(2015.9.3)

【公開番号】特開2014-235135(P2014-235135A)

【公開日】平成26年12月15日(2014.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2014-069

【出願番号】特願2013-118298(P2013-118298)

【国際特許分類】

G 01 L 1/16 (2006.01)

H 01 L 41/113 (2006.01)

H 01 L 41/047 (2006.01)

H 01 L 41/29 (2013.01)

H 01 L 41/193 (2006.01)

【F I】

G 01 L 1/16 B

H 01 L 41/113

H 01 L 41/047

H 01 L 41/29

H 01 L 41/193

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月15日(2015.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

圧電層と、前記圧電層の第1正面側に積層される第1電極と、前記圧電層の第2正面側に積層され前記圧電層を介して前記第1電極と重なる第2電極と、前記第1電極と接続される第1検出部と、前記第2電極と接続される第2検出部とを備える圧力検出装置であつて、

前記第1電極は、

2つの辺が組み合されたL字型のL型基準電極と前記L型基準電極の前記2つの辺から内側に間隔をあけて複数配置され前記L型基準電極の端辺の延長線上に端辺を有するL字型のL型電極とがーの方向に配置されたパターン電極を備え、

前記第2電極は、

前記パターン電極を覆う帯状電極を備え、

前記第1検出部は、

前記パターン電極のL型基準電極と接続されるL型基準電極検出部と、

前記パターン電極のL型電極と接続されるL型電極検出部とを備え、

前記第2検出部は、

前記帯状電極と接続される帯状電極検出部を備える圧力検出装置。

【請求項2】

前記第1電極と前記第2電極の間に基準電極が設けられた請求項1の圧力検出装置。

【請求項3】

前記圧電層が活性圧電部と不活性圧電部とからなり、前記第1電極と前記第2電極が前記活性圧電部の上に配置されている請求項1又は請求項2のいずれかの圧力検出装置。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかの圧力検出装置とタッチパネルを備える電子機器。

【請求項 5】

前記タッチパネルが静電容量型の請求項 4 の電子機器。